No.とプログラム名	No.69　博物館を取材して新聞にしよう！
企業・団体名	ニュースパーク（日本新聞博物館）
実施日	８月５日（水曜日）、６日（木曜日）、７日（金曜日）
会場	【中区】ニュースパーク（日本新聞博物館）　２階イベントルーム
対象学年と参加人数	小学３～６年生、参加児童数 40人
参加の目的 （150 文字程度）	「取材して記事にまとめて新聞を作る」という体験を通して、子どもたちに新聞記者の仕事を知ってもらうとともに、新聞を身近に感じてもらう。また博物館全体を取材することで、日本の新聞の歴史や、情報とのつきあい方、記事の作成に多くの人が関わっていることなどを知ってもらう。

■ プログラム内容

新聞製作マネジャー（元記者）から「新聞とは・取材の仕方」のレクチャーを受けたのち、取材メモを持って館内を取材。その後、「記事の書き方」についてレクチャーを受けてから、パソコンを使った新聞づくりに挑戦した。

■活動中の写真



■参加児童の意見や感想など

例年同様、多くの児童が真剣に話を聞き、集中してメモを取っていた。自由取材の時間では、気になる展示を家族と探す姿勢が見られたほか、積極的にスタッフや博物館実習生に質問する姿が見られた。パソコンづくりでは、自らパソコンで文章を作成する児童が多かったが、一部は保護者やスタッフのサポートが必要だった。

振り返り会では、「見出しを書くのは難しかったが、完成して嬉しかった」「新聞づくりはやりがいがあった」などの感想が発表された。アンケートでは、「記事を書くのが楽しかった」「めずらしい体験になった」「新聞に触れさせることができてよかった（保護者）」などのポジティブな感想が寄せられた。

■企業・団体の気付きや感想など

子どもたちは取材中、限られた時間の中で多くの情報を得ようとし、取材メモをいっぱいに埋める姿勢が見られた。アンケートでは、楽しみながらも子どもに勉強をさせたい、ニュースに触れさせたいという保護者の思いが感じられた。博物館実習生に関わってもらうことで、大学生の学習にもつなげることができた。鉛筆で下書きをできる原稿用紙を配布しているが、鉛筆を使わずに直接パソコンで文章を作成する子どもたちが半数程度に増えている。